

平成 30 年度 第 3 回長崎県がん診療連携拠点病院研修会
(アンケート調査結果)

開催日 平成 30 年 8 月 22 日 (水)

時 間 19 : 00 ~ 20 : 30

場 所 第 3 講義室

出席者 58 名 ・ 回答者 39 名

出席者の内訳

施設名 職名	大学	みなと	佐世保 市総合	諫早 総合	原爆	佐世保 中央	島原	長崎 医療	他施設	合計
医師	7 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	3 名	10 名
薬剤師	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
看護師	16 名	0 名	0 名	0 名	1 名	3 名	0 名	1 名	0 名	21 名
MSW	3 名	2 名	0 名	1 名	0 名	1 名	1 名	2 名	0 名	10 名
放射線技師	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名
事務職員	3 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	4 名
その他・不明	1 名	0 名	0 名	0 名	1 名	0 名	0 名	0 名	11 名	13 名
合計	30 名	2 名	0 名	1 名	2 名	4 名	1 名	3 名	15 名	58 名

～今回の講演の内容について～

特別講演「当院における治療と就労の両立支援」

① よかったところ

- ・ 現在のがん Pt の背景の説明があつての説明だったので話に入り込みやすかった (看護師)
- ・ 超高齢化社会において、病と仕事を両立していくことは今後どうしても必要になってくることだと改めて感じた (看護師)
- ・ 両立支援の具体的な説明がとても参考になった (保健師)
- ・ 両立支援に対しての知識がなかったのでとても勉強になった。具体的でわかりやすかった (看護師)
- ・ 大変わかりやすく、業務の中でも実践していこうと思う。ありがとうございました (MSW)
- ・ 漠然としていたフローがとてもわかりやすく頭に入ってきた。意見書例も見れてよかった (MSW)
- ・ 両立支援に関する基本的な内容を理解することができた (保健師)
- ・ 両立支援の全体内容及び具体的な就業意見内容などわかりやすい内容だった (保健師)
- ・ 両立支援の具体例を知ることができてよかった。意見書の書き方が参考になった (MSW)
- ・ 事例を提示いただいた点 (特に意見書) (MSW)
- ・ 診断書の書き方など具体的なことがわかってよかった (MSW)
- ・ 意見書の記入例を紹介いただいたが、具体的な配慮方法が記載されているところは、就労のための大きな助けになると思う (その他)
- ・ 治療をしながら仕事を両立して行うことの大切さを学んだ (看護師)

- ・両立支援の内容、仕組みが理解できた（事務職員）
- ・「意見書・診断書の違い」からの詳しい解決（社会保険労務士）
- ・患者様を支援していくうえで、具体的にどうすればいいのか、またどうすればよくなるのか、といったことが聞いてよかった（事務職員）
- ・現在、所属している部署では、がん患者さんと直接密に関わる機会があまりないが、わかりやすい内容で「両立支援」について知る機会になった（看護師）
- ・内容がわかりやすく、興味・関心をもつことができた（看護師）
- ・事例が聞いてよかった（MSW）
- ・仕組みがよくわかった（事務職員）
- ・非常にわかりやすかった（その他）
- ・診断書や意見書の書き方など、具体的であった（看護師）
- ・具体的な支援の流れや意見書の書き方がよくわかった。もっとお話を聞きたいと思った（MSW）
- ・両立支援の具体的な内容を学ぶことができた（看護師）
- ・意見書の記入の具体例が聞いたこと（MSW）
- ・ケース紹介、具体的なイメージがとれた（医師）
- ・主治医の作成する意見書の具体例が確認できて参考になった（その他）
- ・当院の就労ナビに依頼するときの患者の配慮について、具体的に聞いた。今後の参考にしたいと思う（看護師）
- ・背景から産医大の取り組みまで詳しく説明していただいて知識が深まった（保健師）
- ・意見書記載のポイントがわかりやすかった（医師）
- ・知らないことを多く学べた（医師）
- ・産業医の支援（その他）
- ・働きながら治療をするために、数%上の治療効果より副作用が少ない治療をするという考え方（看護師）

② 気になったところ

- ・意見書にメールアドレスがあるのはありがたい（保健師）
- ・両立支援を行う場合、職場の理解がとても重要ではないかと思う。ほとんどの職場に産業医がいないのでは…（看護師）
- ・配布資料がほしい（看護師）
- ・両立支援科メンバーの構成と動き方（役割分担）（MSW）
- ・両立支援を推進するためには主治医との連携が大切だと感じた。主治医に意見書などの重要性を伝えなければならぬと思った（MSW）
- ・職場における理解を得る、または両立に向けた理解ある社会を作るにはまだ時間がかかるかも。産業医以外の医者は世の中を知らない。多くの医者は紹介されたような意見書を作成できないのではないかと（その他）
- ・両立支援の介入を必要とする患者さんは多くいると思うが、加算を取ることがこんなにも困難だということに驚いた。算定を取ることができる要件の変更などは今後ないのだろうか。今後の介入をさらに検討していく必要を感じた（看護師）

- ・主治医意見書にかかる費用はどこの負担になるのか？（MSW）
- ・ハンドアウトがあればよかった（事務職員）
- ・長時間だと集中力が落ちるので、見返せるように資料があるとよかったと思う（看護師）
- ・スライドの資料がほしかった（MSW）
- ・資料をいただければよかった（看護師）
- ・両立支援科がない病院ではどうしたらよいのか気になった。職種は先生のような医師以外の MSW や看護師のコーディネーターがどのように動いているのかを知りたかった（MSW）
- ・主治医の負担への配慮に気を遣われているところは実臨床では難しい、ハードルが高いと感じた（保健師）

③ 講演に対する要望

- ・ボリュームが大きすぎた（看護師）
- ・場所のお知らせがあったらわかりやすかったと思う。表示などがあれば…（保健師）
- ・現場の医師にもっと聞いてほしい内容と思ったので、医師向けにもやってほしい（MSW）
- ・従事の実例のところ、今後の取り組みの経過の第二弾のお話をお聞きしたい（保健師）

◆次回の講演で希望すること

- ・講演時間がもう少し早ければと思う（看護師）
- ・ありがとうございました（保健師）
- ・週末（金曜日）開催を希望する（看護師）
- ・あじさいネット TV 会議システムは使えないのか？（MSW）
- ・第 2 回についてでもだが、質疑応答も含めたスケジュール構成を検討していただけたらと思う（看護師）
- ・15 分でもいいので早い時間に開始していただけると助かる（事務職員）
- ・Chemotherapy,radiation の QOL（医師）
- ・両立支援の第二弾 意見書の書き方の講演会（医療者の立場で）（保健師）

◆がん診療センターに対するご要望があれば教えて下さい

- ・このような機会を与えていただき、感謝している（事務職員）
- ・企業側の立場としても、よく連携させていただければ幸いである（医師）